

戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)のプログラム概要

参考資料

プログラム名	対象とする研究開発課題		研究開発経費※1 (年度当りの上限額)	研究開発期間
社会展開指向型研究開発 (以前の「重点領域型研究開発」及び「地域ICT振興型研究開発」を見直し)	IoT/BD/AI時代に対応して、実用化・社会実装を意識した、新たな価値の創造、社会システムの変革並びに地域の活性化及び課題の解決に寄与するICTの研究開発			
	3年枠	実行可能性や実現可能性の検証等を実施(フェーズⅠ)した上で、選抜評価を経て、更に、最長2年間の研究期間で実用化・社会実装に向けた研究開発を実施(フェーズⅡ)するもの	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ： 1000万円	フェーズⅠ： 1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度
	2年枠	最長2年間の研究期間で、実用化・社会実装を目指す本格的な研究開発を実施するもの	2000万円	最長2か年度
ICT基礎・育成型研究開発 (以前の「ICT研究者育成型研究開発」を見直し)	ICT分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや中小企業等の斬新な技術を発掘するために、Feasibility Study(本格的な研究開発のための予備実験や理論検討等の研究開発)として課題終了後の発展が見込める課題や、情報通信分野の基礎的な技術の発展に寄与する課題の研究開発			
	3年枠※2	実行可能性や実現可能性の検証等を実施(フェーズⅠ)した上で、選抜評価を経て、更に、最長2年間の研究期間で基礎から応用までの広い範囲の技術を対象とした研究開発を実施(フェーズⅡ)するもの	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ： 1000万円	フェーズⅠ： 1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度
	1年枠	実行可能性や実現可能性の実証・検証等を中心として取り組み、研究開発開始時に設定した目標の達成を目指す短期的研究開発を実施するもの	300万円	1か年度
電波有効利用促進型研究開発	電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発課題		【先進的電波有効利用型】 フェーズⅠ： 500万円 フェーズⅡ： 3000万円	フェーズⅠ： 1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度
	電波を用いたIoTシステムの構築や社会展開を促進する新たなワイヤレスビジネスの創出を意識した研究開発課題		【先進的電波有効利用型(社会展開促進型)】 フェーズⅡ： 3000万円	フェーズⅡ：最長2か年度

※ 表中、今回の採択課題に係るプログラムを朱書きで示しています。

※1 別途間接経費(直接経費の30%を上限)を配分。

※2 ICT基礎・育成型研究開発3年枠は7月頃に別途公募予定。